

2025年度ブルーカーボン量（ベースライン）

島勝浦 冬藻場

根拠1（Before-Afterの比較）

活動区において、2019年3月時点では海藻類の繁茂が見られない。

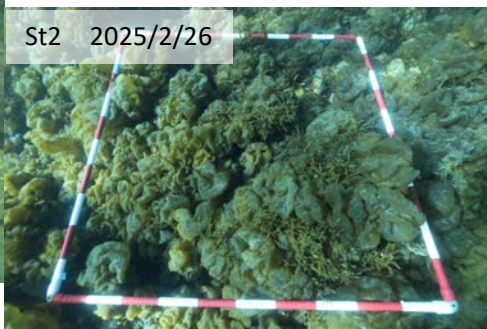
根拠2（Control-Impactの比較）

活動区内においても、2025年2月26日のモニタリング時にはガンガゼの生育が高密度で確認される周辺では海藻が確認されず、食害による消失が示唆される。

根拠1、2よりプロジェクトの活動により藻場が維持・回復していると推測され、ガンガゼの密度管理が十分でない場合、藻場が消失すると考えられることから、ベースライン0とする。



St2 2019/3/2



St2 2025/2/26

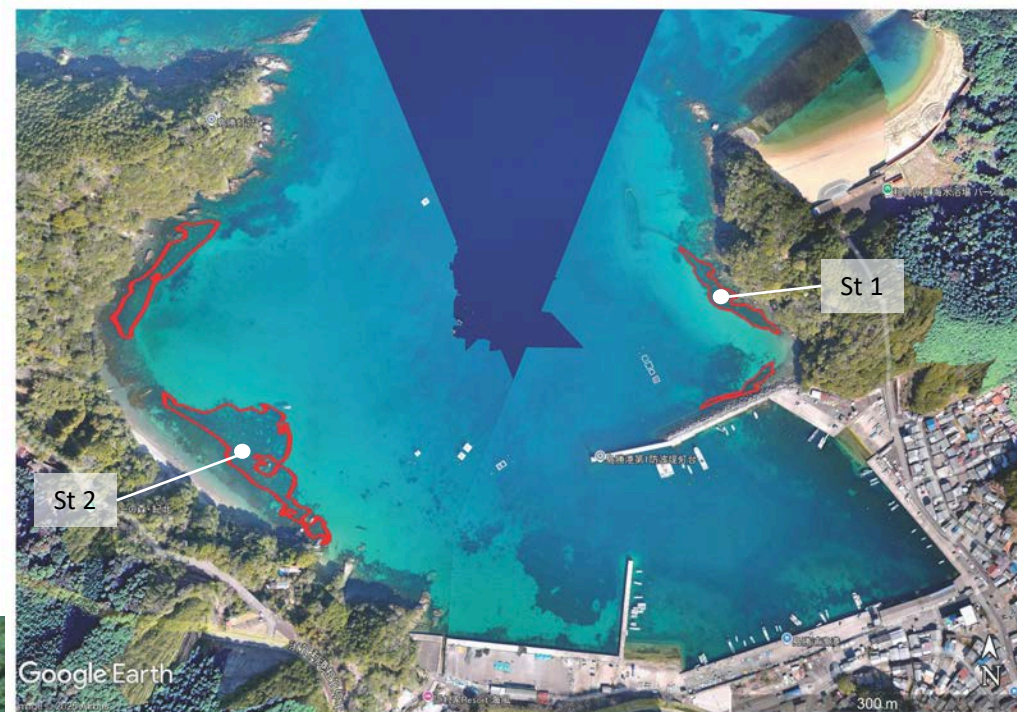


拡大



St1 2025/2/26

岩の隙間にガンガゼが高密度で生育していることが確認された場所の周辺のみ海藻の繁茂が見られない。



写真撮影位置

図は冬藻場調査結果より

ドローンによる空中写真撮影（2025年2月26日）